

No.	004	—	2056	事務事業名	なんでも鑑定団開催事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	企画政策課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4473	メールアドレス	kikakuseisaku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	29年度～29年度				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	2 良好な住環境づくりの推進		主要施策	(4) 移住・定住の促進				
	事業の対象	「開運！なんでも鑑定団」の人気コーナーである「出張！なんでも鑑定団」				根拠法令	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
	事業の目的	最終的	市のイメージアップを図るとともに、移住・定住を促進するための施策の一環とします。			今年度							
	活動内容	①	鑑定するお宝及び公開収録の番組観覧の募集。			④	公開収録当日の運営。						
		②	市紹介イメージカットの撮影(写真・動画)。			⑤							
		③	番組ディレクターとの協議。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		お宝出品申込数				件	目標	—	100	—	—		
					実績	—	149						
番組観覧申込人数						人	目標	—	390	—	—		
						実績	—	1,750					
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	総務			費				
	直接事業費			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円							
		一般財源		0 千円	342 千円	0 千円							
	計(A)		0 千円	342 千円	0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.100 人	601 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.300 人	592 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		0 千円		1,535 千円		0 千円						
一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	廃止/休止
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	全国的にも知名度の高い「開運！なんでも鑑定団」の人気コーナーである「出張！なんでも鑑定団」の公開収録を行うことで、市の認知度向上及びイメージアップにも繋がります。												
有効性	全国放送のテレビ番組内で本市を取り上げてもらうことで、市の認知度向上及びイメージアップに繋がりました。												
達成度	お宝出品申込数、番組観覧申込人数ともに予定を大きく上回る募集があり、公開収録も大盛況に終わりました。												
効率性	公開収録の運営の一部を外部に委託することで、当日もスムーズな進行を行うことができました。												
当面の課題	「出張！なんでも鑑定団」の公開収録は県内の他自治体でも行われていますが、本市での開催は今回が初めてとなりました。次回の開催を行うかについては検討が必要になると思います。												
改訂計画	次回の開催を行う場合は、今回の運営面等の経験を活かし、コスト面等の見直しを行います。												
二次評価者	企画政策課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	廃止/休止
二次評価での指摘事項	全国的に知名度の高い人気テレビ番組に東温市を取り上げてもらうことで、認知度の向上やイメージアップにも繋がり、公開収録も大盛況に終わることができました。今後も、市のイメージアップや、移住・定住を促進するため、費用対効果の高いメディア等の活用に努めてください。												

No.	004	—	2060	事務事業名	アート・ヴィレッジとうおん創生事業	細事務事業名	アート・ヴィレッジ構想プロモーション	公的関与	7				
PLAN	課名	企画政策課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4473	メールアドレス	kikakuseisaku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	28年度～31年度				
	総合計画	政策目標	第5章 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進		主要施策	(1)協働のまちづくりの総合的推進				
	事業の対象	本市の移住・定住促進に向けた働きかけとして、本市特有の資源を活かした文化・芸術を核としたまちづくり「アートヴィレッジとうおん構想」				根拠法令	地域再生計画、アートヴィレッジとうおん構想						
	事業の目的	最終的	アートヴィレッジとうおん構想に共感したアーティスト人材等の移住を促進し、演劇関連の雇用を創出します。			今年度	アートヴィレッジとうおん構想を広く周知するために、PRやイベントの開催を行います。						
	活動内容	①	アートヴィレッジとうおん構想の周知チラシ・ポスターの制作及び配布。			④	8Kスーパーハイビジョン映像演劇作品お披露目会の開催。						
		②	インターネット広告を活用したアートヴィレッジとうおん構想のPR。			⑤	アートヴィレッジとうおん構想の拠点施設のオープンに合わせた記念イベントの全体広報。						
		③	アートヴィレッジとうおん構想のプロモーション動画の制作。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		本事業に関連した移住者数				人	目標	—	—	—			
					実績	3	6						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	総務			費				
	直接事業費			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	7,349 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円							
		一般財源		0 千円	7,349 千円	0 千円							
	計(A)		0 千円	14,698 千円	0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.200 人	1,202 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.100 人	197 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		0 千円		16,098 千円		0 千円						
一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	アーティスト人材等の移住を促進し、演劇関連の雇用を創出していくためにも、本市の新たなまちづくり「アートヴィレッジとうおん構想」を広く周知することは必要な取組です。												
有効性	インターネット広告の活用や、8Kスーパーハイビジョン映像演劇作品のお披露目会を東京で開催するなど、県外の方に向けても「アートヴィレッジとうおん構想」の周知を行うことができました。												
達成度	チラシの配布や、各種イベントの開催等を通じて「アートヴィレッジとうおん構想」の周知を行ってきた結果、平成30年3月31日に行った東温アートヴィレッジセンタープレオープンイベントには約900名もの来場がありました。												
効率性	チラシの新聞折込やインターネット広告の活用など、様々な手法を用いて、効率的な周知・PRを行うことができました。												
当面の課題	「アートヴィレッジとうおん構想」の認知度は向上されつつありますが、本構想に基づいて開催されているワークショップ等のイベントの来場者数がまだまだ少ないのが現状です。												
改 革 画	「アートヴィレッジとうおん構想」の周知・PRを継続して行い、新たな顧客の掘り起こしを行います。												
二次評価者	企画政策課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	幅広い分野のアーティストの移住と文化芸術の産業化を目指す「アートヴィレッジとうおん構想」を広く周知するためのプロモーション活動は非常に重要です。舞台芸術を中心とする創造活動拠点施設「東温アートヴィレッジセンター」をフルに活用するなど、様々な周知、PRに努めてください。												

No.	004	—	2061	事務事業名	アート・ヴィレッジとうおん創生拠点整備事業	細事務事業名		公的関与	7				
PLAN	課名	企画政策課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4473	メールアドレス	kikakuseisaku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	29年度～29年度				
	総合計画	政策目標	※該当なし		政策項目			主要施策					
	事業の対象	本市特有の資源を活かした文化・芸術を核としたまちづくり「アートヴィレッジとうおん構想」の拠点となる施設「東温アートヴィレッジセンター」				根拠法令	地域再生計画、アートヴィレッジとうおん構想						
	事業の目的	最終的	「東温アートヴィレッジセンター」の開館に向けて整備事業を行います。			今年度							
	活動内容	①	東温アートヴィレッジセンターの整備工事。			④							
		②	東温アートヴィレッジセンター用の備品購入。			⑤							
		③	東温アートヴィレッジセンター指定管理者選定委員会の開催。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	総務		費					
	直接事業費		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	38,092千円	0千円								
		地方債	0千円	38,000千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	5,941千円	0千円								
	計(A)	0千円	82,033千円	0千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.600人	3,607千円	0.000人	0千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		0千円	85,640千円	0千円								
一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	廃止/休止
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	文化芸術を通じた交流人口の拡大、関連産業の創出及び人材の育成を図っていくためには、活動の拠点となる施設が必要になってきます。												
有効性	拠点施設を整備することで、施設を活用した自主企画公演等の実施やワークショップ等の文化芸術関連サービスの提供などの展開も可能となります。												
達成度	平成30年4月1日にオープンする拠点施設のプレオープニングイベントとして演劇・ダンス・音楽等の多様な企画を実施したところ約900名もの来場がありました。												
効率性	文化・芸術を活かした本市の新たなまちづくり構想の取組であり、初期段階においての人的投資は必要と考えます。												
当面の課題	拠点施設「東温アートヴィレッジセンター」を活用し、自主企画公演やワークショップを開催しているところですが、施設の認知度に比べて、来場者数がまだまだ少ないのが現状です。												
改革計画	拠点施設「東温アートヴィレッジセンター」、施設を活用した各種イベントについて、引き続き周知を行っていき、新たな顧客の掘り起こしを狙います。												
二次評価者	企画政策課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	廃止/休止
二次評価での指摘事項	舞台芸術を中心とする創造活動の拠点施設として、多目的稽古場、小劇場、交流スペースの3つのエリアからなる「東温アートヴィレッジセンター」を整備し、3月末にはプレオープニングイベントを開催し、多くの方にご来場いただきました。今後は、自主企画公演やワークショップ等を開催し、施設の認知度向上を図るとともに、新たな顧客の掘り起こしに努めてください。												

No.	004	—	2062	事務事業名	移住・定住情報発信事業	細事務事業名	移住ガイドブックの製作	公的関与	8				
PLAN	課名	企画政策課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4473	メールアドレス	kikakuseisaku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 29 年度				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	2 良好な住環境づくりの推進		主要施策	(4) 移住・定住の促進				
	事業の対象	市が推進する移住定住施策に寄与するガイドブック				根拠法令	東温市・まち・ひと・しごと創生総合戦略						
	事業の目的	最終的	コンセプトを明確にしたガイドブックを製作することで、ターゲットにしっかりと情報を届け、本市への移住・定住に繋がります。			今年度							
	活動内容	①	移住ガイドブックの印刷製本。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		移住相談窓口を通じた移住者数		総合戦略KPI		人	目標 1	1	1	5			
					実績 19	26							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	総務		費					
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	821 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	821 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.150 人	902 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.100 人	197 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		0 千円	1,920 千円	0 千円								
一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	廃止/休止
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	新たに移住ガイドブックを製作することで、本市移住相談窓口への移住相談件数も増加しました。(平成28年度46件、平成29年度69件)												
有効性	平成28年度に「東温市移住定住促進マスタープラン」を策定するなど、本市の重点施策として「移住・定住施策」に取り組むためにはガイドブックの製作や情報発信などを継続して行う必要があります。												
達成度	新たに製作した移住ガイドブックを、首都圏で開催された移住フェアや首都圏の移住関連の各種関係機関で配布を行い、ガイドブックを通じた本市の魅力発信を積極的に行うことができました。												
効率性	移住ガイドブックの製作については、冊子の仕上げ方法等で専門的な技術を要するため、業者への外部委託が妥当であると考えます。												
当面の課題	新たな移住ガイドブックの製作や移住専用サイトの運用により、本市移住相談窓口への相談件数も増加しました(平成28年度46件、平成29年度69件)が、相談件数に比べまだまだ移住者数が少ないのが現状です。												
改訂計画	さらなる移住者獲得を図るため、既に移住されている方の掘り起こしや移住体験談の発信などを積極的に行います。												
二次評価者	企画政策課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	廃止/休止
二次評価での指摘事項	新たに作成した移住ガイドブックや移住専用サイトの運用により、移住希望者に対し市の概要をはじめ、子育て支援、空き家情報、企業・就業・就農支援施策等の情報を提供し、更なる認知度向上と移住者の呼び込みに努めてください。												